

特集 3

下痢症の原因を探る —『便通異常症診療ガイドライン2023』に 基づくアプローチ—



かす が い く に お
春日井 邦夫
愛知医科大学 名誉教授

要旨

下痢は日常診療で極めて頻度の高い症状であり、その原因は多岐にわたる。特に4週間以上持続・反復する慢性下痢症は、患者のQOLと社会生活に大きな影響を与える。『便通異常症診療ガイドライン2023—慢性下痢症』では、慢性下痢症を「4週間以上持続または反復する下痢のために日常生活に様々な支障をきたした病態」と定義し、病因に基づく8つのカテゴリー〔薬剤性、食物起因性、症候性（全身疾患性）、感染性、器質性、胆汁酸性、機能性、下痢型過敏性腸症候群〕に整理している。
本稿では、本ガイドラインの診断フローチャートを軸に、問診・身体診察・検査をどのように組み合わせ、原因に迫るかを概説し、忙しい臨床現場で見逃したくない代表的疾患とその鑑別のコツについて、実践的な視点から解説する。

キーワード

慢性下痢症, 便通異常症, 薬剤性下痢症, 胆汁酸性下痢症, 機能性下痢症

語句解説

対 特集
談 1

特集
2

特集
3

特集
4

特集
5

最新
トピックス

徒然なる
ままに。